高野山真言宗 千手院（せんじゅいん） 情報誌

ア 字のふるさと

当山出版局編集長 川上修詮（しゅうせん）

◉千手観音（せんじゅかんのん）さまのご真言について

高野山真言宗のお寺では、お大師さまの御宝号「**南無大師遍照金剛**（なむだいしへんじょうこんごう）」をお唱えしますが、当山のご本尊さまは、千手観音さまですので、加えて、千手観音さまのご真言もお唱えしましょう。

ご真言「**オン・バザラ・タラマ・キリク**」

「オン」は、帰命で、尊厳を保ちますと言う意味ですが、穏やかな根源です。

「バザラ」は、金剛で、「バジラ」や「バンザラ」とも言い、堅固な精神を意味します。

「タラマ」は、救済で、「ダルマ」や「ダラマ」と発音する場合も有るようです。

「キリク」は、智慧で、キリク字は、千手観音さまの種子「梵字」でもあります。

「そ」の形のような梵字が最後に付く場合も有りますが、句読点、終章の様に追記する意味で使われます。

また、当山のご本尊さまは、平手で持仏をお持ちでは有りませんが、衆生の願いを多く受け止める為の仕業だと思われます。

◉本堂の柱と床の点検を実施

令和八年二月十九日㈭午前十時開始

点検の結果は、以下の様に成りました。

⑴選定管理（根岸設計）根岸広人代表

⑵柱の担当（洗心工業）真坂圭吾代表

⑶床の担当（松 福 屋）岩本元漆職人

①柱に着いている色抜けの修復については包装がよくできていた結果、返って養生の科学物質が残ってしまい、日焼けの妨げになっている模様です。

柱の修復と言うよりは、余分な成分の除去に絞って、順次強度を変えて、修復を試みていただきます。一部で試験的に修復して、方向性が見えた段階で、見積もりを提出する予定でいるそうです。

②内陣床の漆塗りのムラについては、施工から十年が過ぎて、最も目立ってくる時期にあると思われます。我慢のしどころで、この先五十年～百年と保てるだけの仕上がりに成って降りますので、ご安心下さいとの事です。使われている材木の質が非常に良いためこれ以降は、あまり気に成らないような状態に緩やかに成って行くそうです。日頃のぞうきん掛けが一番の方法との事です。

◉護寺会世話人の活動報告と活動予定

（会長 白井精治）

①年末年始案内状の**発送作業**

令和七年十一月二十四日㈪午前十時開始

②**大掃除**と仏器磨きと正月の準備

令和七年十二月二十一日㈰午前十時開始

③新年**《修正会》**読経会

令和八年七草㈬午前十時執行

④春季彼岸会**《閻魔十王講》**読経会

令和八年三月二十日㈮午前十時執行

⑤盂蘭盆会案内状の**発送作業**

令和八年六月二十八日㈰午前十時開始

⑥**大掃除**と仏器磨きと卒塔婆回収

令和八年七二十六日㈰午前十時予定

⑦護寺会**会計監査**（三役会）

令和八年八月初旬の開催予定

⑧**《盂蘭盆会新盆供養卒塔婆開眼》**

令和八年八月十日㈪午前十時予定

⑨**《秋季彼岸会稲荷明神講》**読経会

令和八年九月二十三日㈬午前十時予定

◉お塔婆のお申し込み受付開始

六月三十日までに、**不要・削除・変更**が有る場合はご連絡ください。七月一日から卒塔婆の浄書を開始いたします。

但し、追加や新盆で本数が多い方は、なるべく早い時期にお申し込み下さい。

◆お塔婆は、一基二千五百円です。浄書代お経料は事情によってお考え下さい。

◆八月一日より各自で持ち出せる様にしますので。墓参の際に本堂内に列べてある所からお探し下さい。

◉盂蘭盆会(新盆供養)は住職が一人厳修

お施餓鬼も含め、お盆の読経は、住職が一人本堂で読経厳修いたします。

◆八月一日～十二日住職読経（同席不可）

◆八月十三日～十五日午前十時・午後二時お盆中は、毎日二回、本堂で住職が一人読経を致しますので、ご安心下さい。

護寺会員（檀信徒）の皆様は、同時刻にご仏壇にお参りして、ご焼香し、合掌をなさって下さい。

※本堂にご参列頂いても結構ですが、お接待はいたしませんのでご了承ください。

◆棚経でご自宅に伺う事は致しません

◉新盆の「掛け袋」のお米はお寺で用意

近年、お米の高騰や、古古古米の様に、仏さまにお供えするには、誠に不向きな様子が伺われますので、お米はお寺で、昨年秋に収穫されたお米を購入して、掛け袋には寺族婦人が入れて裁縫も済ませて、扇子

◉令和八年ー《年回忌表》ー

一　周　忌 ＝ 令和　七　年 ＝
三　回　忌 ＝ 令和　六　年 ＝
七　回　忌 ＝ 令和　二　年 ＝
十三回忌 ＝ 平成二十六年 ＝
十七回忌 ＝ 平成二十二年 ＝
二十三回忌 ＝ 平成十六年 ＝
二十七回忌 ＝ 平成十二年 ＝
三十三回忌 ＝ 平成　六　年 ＝
三十七回忌 ＝ 平成　二　年 ＝
五十回忌 ＝ 昭和五十二年 ＝
追善供養忌 ＝ 思い立った時 ＝

◆ご法事をご希望の方は、お寺に日時の確認をしてからお決め下さい。同じ日時に法事の重なる場合が有りますので、先着順とさせていただいております。

◆必要事項は左記の内容です。

❶日時の確認を一番にする。
❷卒塔婆の名簿をふりがな付きで提出。
❸参加者の人数を事前に連絡する。
❹住職は食事に同席はいたしません。
❺生花と菓子を持参する。果物は不可。
❻位牌と遺影は機に応じて考えましょう。
❼お墓の掃除は法事の前に済ませる。
❽お線香と墓地花も用意。

◉墓終いもご相談ください

お墓参りが出来なく成る前に、住職に相談しましょう。合同納骨堂や、墓終いも、場合に依っては致し方ない時代です。

全てを良い様に考えて、「しょうがない」事を過剰に悩まないように致しましょう。千手院の住職は、上手く行かない事が大好きです。思いもよらない方向が開ける前兆と思い、「わくわく」いたします。

「心配せずとも良い、必ず良い様になる。」

以　上

〒253-0015
茅ヶ崎市 代官町 1の4
☎0467（51）9758
発行 高野山真言宗 千手院（せんじゅいん）